



# 学校キャラバン

- IN 鞍手竜徳高校
- 令和7年2月26日～27日

建設産業専門団体九州地区連合会





# 令和6年度 鞍手竜徳高等学校キャラバンについて

実施日：令和7年2月26日（水）、2月27日（木）

参加者：福岡県立鞍手竜徳高等学校  
総合学科 工業技術系列 2年生46名（男42名、女4名）

場所：福岡県立鞍手竜徳高等学校（福岡県宮若市龍徳161番地）実習室他

## 【カリキュラム】

日時	作業名	作業内容	協力団体	
2月26日（水） 2月27日（木） *2年生 46名	2月26日のみ 9:00~9:30	オリエンテーション	建設業の魅力を伝えます	九州建専連・九州地方整備局
	2月26日 9:40~12:40  2月27日 9:00~12:00  *生徒が6グループに分かれ二日間 で順次体験 (各60分・閨)	足場設置	高所で作業をするための足場を組み立てます	福岡県薦土工業連合会
		鉄筋ガス圧接	鉄筋を加熱し、圧力を加えながら接合します	西日・圧接業協同組合
		鉄筋結束	鉄筋を結束し、建物の骨組みを組み立てます	福岡県鉄筋事業協同組合
		型枠組立	コンクリートを流し込むための型枠を作ります	(一社) 日・型枠工事業協会九州支部
		電気工事	電気設備の配線実演をします	(一社) 日・電設工業協会九州支部
		解体工事	解体重機の操作を体験します	(一社) 福岡県解体工事業協会
	2月27日のみ 12:00~12:40	意見交換会等		参加各団体



## 学校キャラバンの様子（鞍手竜徳高等学校）



九州地方整備局から  
建設業魅力発信



型枠組立



解体工事



電気工事



KBC  
インタビュー



鉄筋ガス圧接



足場組立



鉄筋結束



## 意見交換会

生徒から①仕事で一番大切なこと、②どんな高校生を採用したいか、③高校在学中にやっておいたほうが良いこと、について質問がありました。

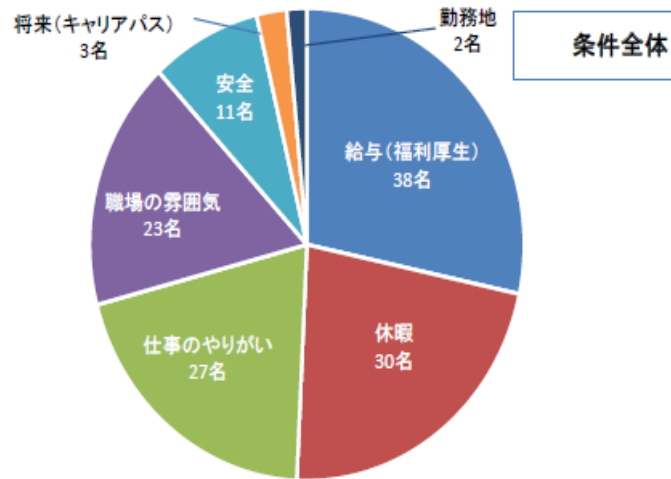
建設専門工事業の皆さんからは、①人と人の信頼、技能の積み重ね、コミュニケーション等、②何か一つに取り組んでいる人、やる気、元気、挨拶、③今できることを一生懸命する、友達を大事にする等のお話がありました。



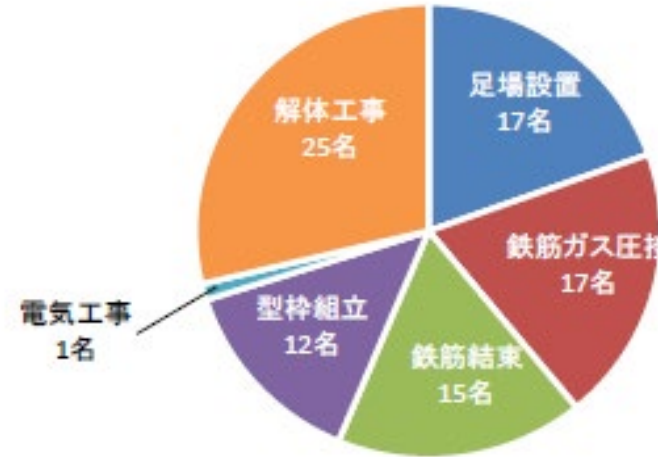


# 生徒アンケート結果

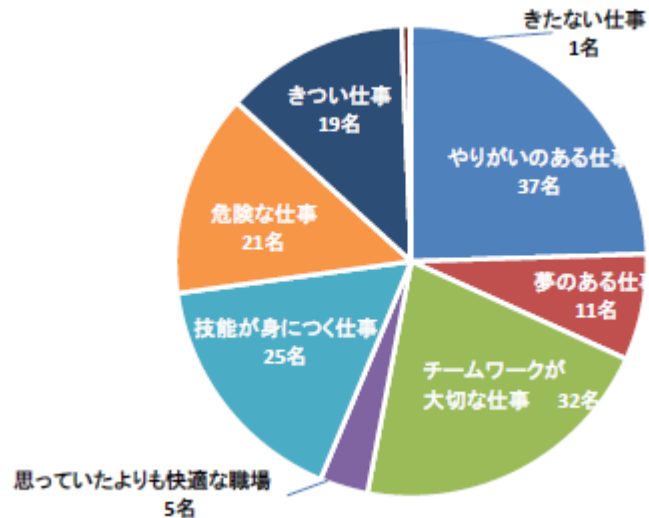
○建設業を仕事として選ぶ場合に意識する条件(3つ選択)



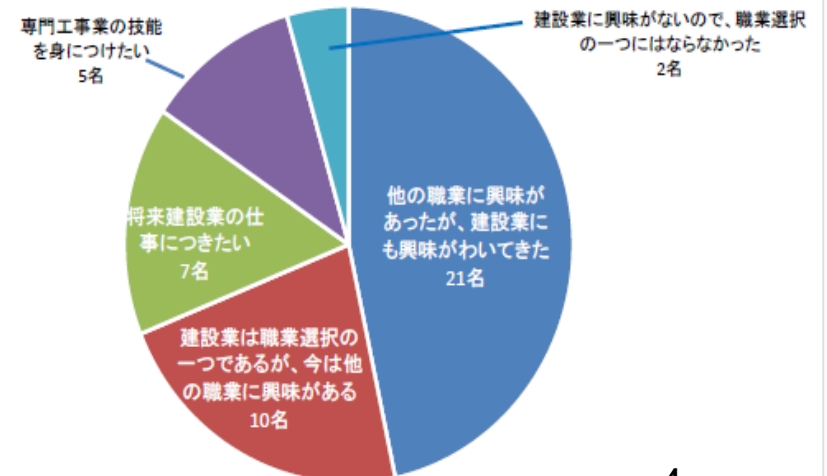
○インターシップを通じて体験したい職種



○建設業の仕事についてのイメージ(複数回答)



○今回の出前授業を受け、建設業の仕事が職業選択の一つとなりましたか(1つだけ選択)





## アンケートに記載されました

### 主な感想、興味を持ったこと

- ・出前授業を体験する前はあまりいいイメージがなく、きつそうなイメージだったけど、実際に話を聞いてみて、とてもいいなと感じました。
- ・今回の体験授業を通して、建設業はいろいろな方たちが協力して1つの建物ができるんだなと改めて実感しました。自分が興味を引いたのは、ユンボに乗って実際に動かしてみたことです。また、ユンボの免許を取りたいなと思いました。・建設業は全く興味なかったけど、今回の学校キャラバンで興味が湧き、この仕事もありだなと思った。
- ・授業の前は興味がなかったけど、型枠や鉄筋結束などを通して興味を持ちました。型枠でもっと詳しく話を聞きたかったです。鉄筋結束や型枠は、先生に教えてもらう中で楽しいと感じました。
- ・電気工事士は難しいと聞いたので、もっと詳しく話を聞いてみたいです。出前授業は自分の将来につながると思ったので、とても楽しかったです。
- ・解体では重機を操作するのが楽しかったので、もう少し詳しく知りたいなと思いました。ガス圧接では、現場ではどのような感じで作業しているのかが気になりました。
- ・今まで興味がなかった型枠などの仕事を体験してみて、楽しいしとてもやりがいがあって、終わった後の達成感もすごく良かったので、将来は建設業に就職したいと思いました。
- ・全体的に言える話なのですが、もう少し詳しい内容を知りたかったです。例えば、事故や環境、働く時間などについてもっと詳しく知りたかったです。私が興味を引いたのは、解体です。様々な種類があり、やっていて楽しかったです。
- ・足場は重たくて持てないものもあったけど、できたときの達成感がすごかったです。特に興味を持ったのは圧接です。実際にやって繋がったときに音がなるので、タイミングがつかめて楽しかったです。

### 教員のアンケート結果

- ・生徒の将来を考える良い機会になったと思います。実際に作業を体験することで、その職種についての知識を深めるための勉強になっていると思います。
- ・生徒達自身、体験を通して建設業の楽しさを知ることができたと思います。
- ・キャラバン実施から、毎年数名の生徒が建設業の進路に進んでいます。(毎年3~5名程度)今後も継続をよろしくお願いします。
- ・事後指導の際に講師の先生がおっしゃっていた「仕事をするうえで大切にしていること」や「採用の際に重視する点」が非常に印象に残っている。「ルールを守ること」「挨拶の重要性」など生徒に伝えていきたい。
- ・体験授業はもちろん、最終日に行われた意見交換の場です。普段聞くことのできない生の声が聞けて、生徒は幸せだったと思います。



# 新聞報道されました

九建日報 2月28日

## 鞍手竜徳高生に作業体験 整備局と九州建専連が出前授業

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会は、26・27日の2日間にわたり、宮若市の福岡県立鞍手竜徳高等学校で出前授業＝写真＝を行った。総合学科工業技術系列の生徒46人が6グループに分かれ、6工種の専門工事の作業を体験した。

出前授業は、次世代の担い手確保のために実施。オリエンテーションでは、国土交通省が建設業の役割や業種、技術の説明、業界の魅力などについて紹介した。

九州地整の伊東裕倫建設産業調整官は「今日の作業体験は職業を選択する一つの出会いだ。建設業は生活に欠かせない産業で、安全を守る使命感や誇りを持って技術者は仕事をしている。それを念頭に置き、ものづくりの重要性や魅力を肌で感じてもらえれば」と述べた。

その後、生徒らは各作業場所に移動。プロによる説明やお手本などの後、「足場設置」（協力団体は福岡県葺土工業連合会）、「鉄筋ガス圧接」（西日本圧接業協同組合）、「鉄筋結束」（福岡県鉄筋事業協同組合）、「型枠組立」（日本型枠工事業協会九州支部）、「電気工事」（日本電設工業協会九州支部）、「解体工事」（福岡県解体工事業協会）の作業を体験した。出前授業には同校卒業生も教える側として参加し、生徒が親しげに指導を受けている様子も見られた。

解体工事の作業場で、車両系建設機械（移動式クレーン）を操縦し、カラーコーンを掴み運んだ生徒からは、「重機に乗ったのは初めてだ。掴みの具合でカラーコーンが落ちたり傾いたりし、実際に動かすのは想像より難しいと感じた」、「最初は苦戦したが、丁寧に教えてもらい操作に慣れてきた」という声が聞かれた。

レクチャーは和気あいあいとした雰囲気、生徒らは各専門工事が持つ役割の重要性を認識したほか、自分が働いている姿を想像できるような実りある時間だった。





こっちはまったら  
次はこっちを入れる



建設業の就業者数  
**685万人**(1997年度)



九州地方整備局  
ものづくりの楽しさを知ってもらい  
人材確保につなげたいと企画



金の卵  
建設業の人材確保へ  
“ものづくりの魅力”職人が出前授業

学校キャラバンでは職人の  
皆さんがものづくりの魅力を  
伝え、生徒たちは真剣な表情  
で普段できない仕事にふ  
れていたことが紹介され、  
生徒は体験して興味を持  
ち、自分の行きたい道がみ  
えてきたと、インタビューに答  
えてました。



年々減少しています  
少子高齢化ともなって人が減少している



今の建設業界は人間が少ない状態

## KBCめんたいワイドで放映されました



「圧接」



九州地方整備局  
建設業の担い手確保のため  
今後も取り組みを続けていく



多回で自分の行きたい道とかが  
見えてきそう